

林業研究部の研究評価について

林業研究部では、平成16年度から外部委員で構成された研究評価システムを導入し、平成13年度から開催している試験研究課題検討委員会との連動のもとに、研究評価委員会において研究評価を実施することとしました。

1. 研究課題の検討について

(1) 名称：森林・林業・木材産業試験研究課題検討委員会

(2) 委員

- ・環境森林部森林振興室長
- ・環境森林部森林保全室長
- ・環境森林部林業経営室長
- ・環境森林部自然環境室長
- ・環境森林部林業主任専門技術員
- ・各県民局生活環境森林部森林・林業室総括林業改良指導員（7名）
- ・科学技術振興センター総合研究企画部研究評価監
- ・科学技術振興センター林業研究部長

計 14名

(3) 開催状況

森林・林業・木材産業試験研究課題検討委員会実施要領に基づき、平成16年7月16日、林業研究部において平成16年度森林・林業・木材産業試験研究課題検討委員会を開催し、行政ニーズや普及ニーズの観点から、平成17年度に林業研究部が取り組むべき試験研究課題を選定しました。

選定課題は以下の3課題でした。

- ・スギ・ヒノキ人工林の強度間伐等による針広混交林への移行技術の確立
- ・スギノアカネトラカミキリ被害材の強度性能に見合う新製品の開発
- ・きのこの機能性に注目した商品の開発及び未利用部を活用した用途の開発

2. 研究の評価について

(1) 名称：林業研究部試験研究評価委員会

(2) 委員

- ・三重県森林組合連合会専務理事
 - ・三重県木材組合連合会専務理事
 - ・三重大学名誉教授
 - ・宮川村せせらぎ会長
- の計4名

(3) 開催状況

林業研究部試験研究評価実施要領等に基づき、平成16年8月10日、林業研究部において平成16年度第1回林業研究部試験研究評価委員会が開催されました。委員会の主な内容は次のとおりでした。

委員長選出

委員会運営内規に基づき、委員の互選により委員長が選出されました。

評価課題説明

林業研究部が実施する全ての試験研究課題について概要を説明し、そのうち当評価委員会で評価を実施する中間評価2課題、事前課題2課題が選定されました。

中間評価

評価方法内規に基づき、次の2課題について満点20点中12点以上で「継続」と評価されました。

- ・耐火性複合構造材の実用化研究（17.8点）
- ・森林生態系および河川生態系の保全に関する研究（16.0点）

事前評価

評価方法内規に基づき、次の2課題について満点20点中12点以上で「実施」と評価された。

- ・スギ・ヒノキ人工林の強度間伐等による針広混交林への移行技術の確立（17.5点）
- ・スギ・ヒノキ穿孔性害虫被害材の有効利用技術の開発研究（18.5点）

(4) 開催状況

林業研究部試験研究評価実施要領等に基づき、平成17年3月8日、林業研究部において平成16年度第2回林業研究部試験研究評価委員会が開催されました。委員会の主な内容は次のとおりでした。

事後評価

評価方法内規に基づき、次の2課題について満点20点中12点以上で「達成」と評価されました。

- ・三重県特産品の系統判別技術の開発（17.8点）
- ・里山等多様な森林の育成管理技術研究（17.5点）